

第1回・第2回・第3回 大崎市持続可能なまちづくりに関するパートナーシップ会議開催状況

～地域力が育くまれる環境形成（多様な市民参加）による持続可能なまちづくりに向けた新たな仕組みづくりの推進～



第1回 令和8年7月29日（金）



第2回 令和8年8月28日（金）



第3回 令和8年9月11日（金）

令和8年9月18日
市民協働推進部まちづくり推進課

①第1回 次第，パートナーシップ会議メンバー，協議結果等

第1回大崎市持続可能なまちづくりに関するパートナーシップ会議

日時：令和8年7月29日（水）
午後7時から午後9時
場所：大崎市役所本庁舎3階301会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 挨拶
- 3 委員紹介
- 4 内 容
 - (1) 情報提供
 - ①パートナーシップ会議とは・・・資料1，資料2，資料3，資料4，資料5，資料6
 - ②本パートナーシップ会議での検討内容
 - ア．大崎市流域自治組織について・・・資料7
 - イ．大崎市持続可能な地域自治に関する最終提言書について・・・資料8-1，資料8-2
 - ウ．会議日程・スケジュールについて・・・資料9
 - (2) 話し合い・・・資料10
 - テーマ①『パートナーシップ会議を進めるにあたって不安なこと』
 - テーマ②『持続可能な地域づくりに向けた新たな仕組みづくりに期待すること』
 - (3) 協議事項
 - ①会議の公開・非公開について・・・資料11
 - ②委員長及び副委員長の選出について・・・資料12
- 5 その他
- 6 閉 会



大崎市持続可能なまちづくりに関するパートナーシップ会議メンバー

市民メンバー

地 域	氏 名
古 川	岩 瀬 拓 海
古 川	永 塚 崇 浩
松 山	佐々木 健 志
松 山	河 野 友 美
鹿島台	山 田 正 則
鹿島台	赤 間 義 範
三本木	伊 東 仁
三本木	佐 藤 俊 一
岩出山	高 橋 久 則
岩出山	佐 藤 こと代
鳴子温泉	大 沼 幸 男
鳴子温泉	渡 邊 亜沙人
田 尻	千 葉 瞳
田 尻	石 崎 太 貴

14名

職員メンバー

所 属	氏 名
市民協働推進部まちづくり推進課	多 田 典 史
松山総合支所地域振興課	日 下 祐 輔
三本木総合支所地域振興課	佐々木 瑞 穂
鹿島台総合支所地域振興課	紺 野 文 浩
岩出山総合支所地域振興課	鈴 木 由 紀
鳴子総合支所地域振興課	北 村 恵 理
田尻総合支所地域振興課	尾 形 和 洋
地域交流センター	滝 田 誠
松山公民館	高 橋 優 友
三本木公民館	千 葉 浩 一
鹿島台公民館	菅 原 可菜実
岩出山公民館	大 関 ル ミ
鳴子公民館	菅 原 直 樹
沼部公民館	菊 地 孝 志

14名

協議事項

- ①会議の公開・非公開について → 公開とする
- ②委員長及び副委員長の選出について → 第2回目以降に選出することとする

出席者

市民メンバー13名
職員メンバー11名（代理1名含む）

②第1回 話し合い（5グループ）

テーマ①『パートナーシップ会議を進めるにあたって不安なこと』
テーマ②『持続可能な地域づくりに向けた新たな仕組みづくりに期待すること』



A グループ

古川	岩瀬	拓海
岩出山	高橋	久則
鳴子温泉	渡邊	亜沙人
鹿島台総合支所地域振興課	紺野	文浩
田尻総合支所地域振興課	尾形	和洋 (代理 酒井 悟)
松山公民館	高橋	優友

B グループ

古川	永塚	崇浩
鹿島台	赤間	義範
岩出山	佐藤	こと代
まちづくり推進課	多田	典史
鳴子公民館	菅原	直樹

C グループ

松山	佐々木	健志
鳴子温泉	大沼	幸男
田尻	千葉	瞳
松山総合支所地域振興課	日下	祐輔
三本木公民館	千葉	浩一
岩出山公民館	大関	ルミ

D グループ

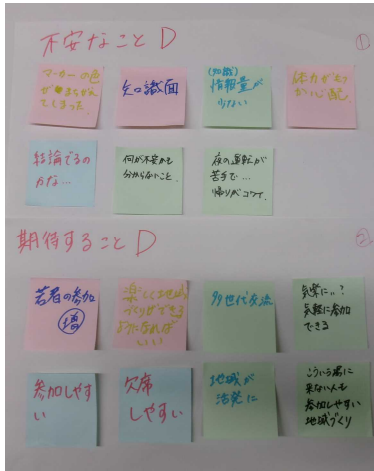
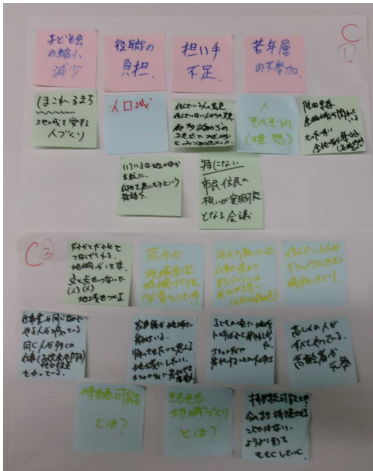
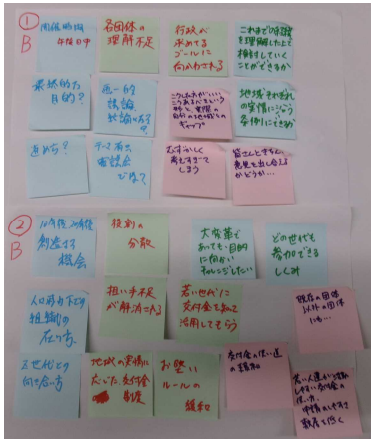
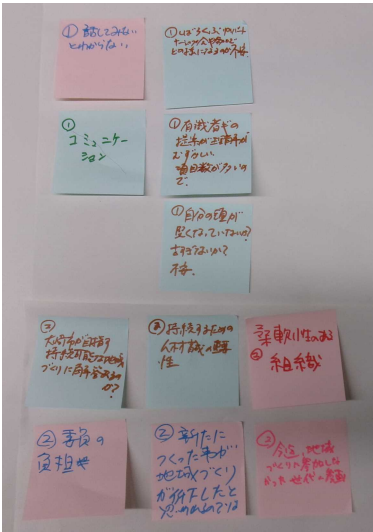
松山	河野	友美
三本木	伊東	仁
田尻	石崎	太貴
三本木総合支所地域振興課	佐々木	瑞穂
岩出山総合支所地域振興課	鈴木	由紀
鹿島台公民館	菅原	可菜実

E グループ

鹿島台	山田	正則
三本木	佐藤	俊一
地域交流センター	滝田	誠
鳴子総合支所地域振興課	北村	恵理
沼部公民館	菊地	孝志

③第1回 全体共有（5グループ）・自己紹介

全体共有



自己紹介



④第1回会議資料抜粋 スケジュール及び話し合いの項目

回数	会議日程	会場	会議スタイル	区分	内 容
第1回	令和8年7月29日 (水) 19:00～	本庁舎3階 301会議室	情報提供 ワークショップ	オリエンテーション	・自己紹介 ・情報提供 (①パートナーシップ会議とは…②本パートナーシップ会議での検討内容③その他) ・話し合い (パートナーシップ会議を進めるにあたって不安なことなど)
第2回	令和8年8月28日 (金) 19:00～	本庁舎3階 301会議室	ワークショップ	現状把握と理想の姿 (地域づくりの現状を知る)	☆<u>地域自治組織の再定義と柔軟な体制設計</u> ☆<u>人材育成プログラムの充実 (ひとが育つ地域社会)</u> ・事例紹介 (まちづくり協議会, 地域づくり委員会のこれまでの歩みとこれから, NPO・若者組織による地域活性化イベント, 地域包括ケアシステム) ・話し合い (感じたこと, 気づいたこと, 大切にしなければならないこと, 守らなければならないこと など)
第3回	令和8年9月25日 (金) 19:00～	本庁舎3階 301会議室	ワークショップ	現状把握と理想の姿 (どうあるべきかの検討, そのために必要なこと)	☆<u>地域自治組織の再定義と柔軟な体制設計</u> ・話し合い① (ex.どのような機能や役割があれば地域自治組織と呼べるのか, 地域自治組織の条件とは…, RMO (事業・組織よりも地域の運営へのこだわり) など) ・話し合い② (ex.創発的な活動を誘発する可能性を高める仕掛けとは…, 集う・交流の“場づくり”とは…, つながりや活躍の場へのニーズ, 出入り自由 (部会 プラスα) など)
第4回	令和8年10月30日 (金) 19:00～	本庁舎3階 301会議室	ワークショップ	論点整理・各論検討 (中間支援を学ぶ・制度設計)	☆<u>中間支援機能の整備 (人的支援)</u> ・事例紹介 (いちのせき市民活動サポートセンター) ・話し合い (ex.地域運営のあり方, 行政支援のあり方, 行政関与・支援担当職員の役割など)
第5回	令和8年11月27日 (金) 19:00～	本庁舎3階 301会議室	ワークショップ	論点整理・各論検討 (新たな財政支援の制度設計)	☆<u>新たな財政支援の仕組み (事業費偏重から人材育成・人材発掘)</u> ・話し合い (ex.事務局員の雇用のあり方, 事業計画の提出を前提とした交付, NPO・若者組織の地域活性化イベントへの交付など)
第6回	令和8年12月18日 (金) 19:00～	本庁舎3階 301会議室	ワークショップ	論点整理・各論検討 構成・組立	☆<u>自己評価・行政評価 (第三者機関) のあり方</u> ・話し合い (ex.市民協働推進委員会の設置の必要性など)
第7回	令和9年1月22日 (金) 19:00～	本庁舎3階 301会議室	報告書の取りまとめ	まとめ	報告書の取りまとめ (報告書に盛り込むべき項目と考え方の整理, 報告書の校正)
第8回	予備日				

①第2回 次第，パートナーシップ会議メンバー，協議結果等

第2回大崎市持続可能なまちづくりに関するパートナーシップ会議

日時：令和8年8月28日（金）
午後7時から午後9時
場所：大崎市役所本庁舎3階301会議室

次 第

1 開 会
2 換 拶
3 内 容

- (1) 前回のふり返り
- (2) 事例紹介（現状把握と理想の姿・地域づくりの現状を知る）
- ①（仮称）三本木まちづくり協議会設立準備会からの誕生
三本木まちづくり協議会 委員 佐藤 俊一 様
 - ②（仮称）西大崎地域自治協議会のこれまでとこれから
西大崎地域自治協議会 会長 高橋 久則 様
 - ③（仮称）特定非営利活動法人鬼首山学校協議会の取り組み
特定非営利活動法人鬼首山学校協議会 理事長 大沼 幸男 様
 - ④（仮称）プラットフォームが創る田尻地域寄合「桜風吹」の取り組み
田尻地域寄合「桜風吹」 代表 今野 真二様、石崎 太貴 様
- (3) 話し合い
- テーマ『感じたこと、気づいたこと、
大切にしなければならないこと、守らなければならないこと』

4 その他

第3回の会議日程 当初予定 9月25日（金） → 提案 9月11日（金）
第4回の会議日程 当初予定 10月30日（金） → 提案 10月16日（金）

5 閉 会



大崎市持続可能なまちづくりに関するパートナーシップ会議メンバー

市民メンバー

地 域	氏 名
古 川	岩 瀬 拓 海
古 川	永 塚 崇 浩
松 山	佐々木 健 志
松 山	河 野 友 美
鹿島台	山 田 正 則
鹿島台	赤 間 義 範
三本木	伊 東 仁
三本木	佐 藤 俊 一
岩出山	高 橋 久 則
岩出山	佐 藤 こと代
鳴子温泉	大 沼 幸 男
鳴子温泉	渡 邊 亜沙人
田 尻	千 葉 瞳
田 尻	石 崎 太 貴

14名

協議事項
委員長及び副委員長の選出について
→ 第3回目以降に選出することとする

職員メンバー

所 属	氏 名
市民協働推進部まちづくり推進課	多 田 典 史
松山総合支所地域振興課	日 下 祐 輔
三本木総合支所地域振興課	佐々木 瑞 穂
鹿島台総合支所地域振興課	紺 野 文 浩
岩出山総合支所地域振興課	鈴 木 由 紀
鳴子総合支所地域振興課	北 村 恵 理
田尻総合支所地域振興課	尾 形 和 洋
地域交流センター	滝 田 誠
松山公民館	高 橋 優 友
三本木公民館	千 葉 浩 一
鹿島台公民館	菅 原 可菜実
岩出山公民館	大 関 ル ミ
鳴子公民館	菅 原 直 樹
沼部公民館	菊 地 孝 志

14名

出席者
市民メンバー 11名
職員メンバー 12名

②第2回 事例紹介（現状把握と理想の姿・地域づくりの現状を知る）



発表の主旨

- ◇誕生にまつわるエピソード
- ◇組織づくりと運営に向けて大切にしてきた機能・役割
- ◇設立後の各種まちづくり団体の変化など

発表順①三本木まちづくり協議会設立準備会からの誕生
三本木まちづくり協議会
委員 佐藤 俊一 様



発表の主旨

- ◇住民合意に基づく住民主体の地域運営組織の進め方
- ◇持続する地域づくりに向けた人材を育むしかけと工夫
- ◇地域計画書策定へのこだわりなど

発表順② 西大崎地域自治協議会のこれまでとこれから
西大崎地域自治協議会
会長 高橋 久則 様



発表の主旨

- ◇特定非営利活動法人鬼首山学校協議会の事業
- ◇活動鬼首地域づくり委員会との関わり
- ◇地域団体との連携の仕方運営資金など

発表順③特定非営利活動法人鬼首山学校協議会の取組み
特定非営利活動法人鬼首山学校協議会
理事長 大沼 幸男 様



発表の主旨

- ◇地域団体をサポートするコーディネーターの役割
- ◇地域人財の循環のしくみ
- ◇まちづくり協議会との関わりなど

発表順④プラットフォームが創る
田尻地域寄合「桜風吹」の取組み
田尻地域寄合「桜風吹」
代表 今野 真二 様

①第3回 次第, パートナースィップ会議メンバー, 協議結果等

第3回大崎市持続可能なまちづくりに関するパートナーシップ会議

日時：令和8年9月11日（金）
午後7時から午後9時
場所：大崎市役所本庁舎3階301会議室

次 第

- 1 開 会
- 2 換 拶
- 3 内 容

- (1) 前回のふり返り・・・・・・・・資料1
- (2) 事例紹介（現状把握と理想の姿・地域づくりの現状を知る）
①K.F.M.O.檜の取り組み・・・・・・・・資料2



Koizumi, Fukuiura, Miyazawa, Oizone 檜 永 塚 崇 浩 様

発表の主旨

- ・K：小泉，F：福浦，M：宮沢，O：荻坪（美里町）の4地区が結成した経緯
- ・4地区の若者の一体感の醸成と地域の結束力を高める工夫
- ・特色ある地域活動をつなぎ合わせ新たな事業を創出する際の仕掛け
- ・地域自治組織・町内会との関わり方，新たな人材の発掘・登用のしかけ など

- ②地域運営組織（RMO）について（事務局から話題提供）・・・・・・・・資料3

- (3) 話し合い
テーマ『事例紹介を観覧して感じたこと，気づいたこと，大切にしなければならないこと，守らなければならないこと』
～持続可能なまちづくりに向けて大切にしなければならない理念・考え方，必要な仕組み・ルールなどを考える～

有識者会議からの提言書項目	有識者会議からの提言書No.
地域自治組織の再定義と柔軟な体制設計	②持続可能な地域自治組織の体制 提言1-1, 提言1-2
日常生活に根差した課題へ（地域課題解決の取り組み）の対応	②持続可能な地域自治組織の体制 提言4-1, 提言4-2
多様な人材の参画促進	③新たな人材の発掘と育成 提言1-1, 提言1-2

- (4) 協議事項
①委員長及び副委員長の選出について

- 4 その他
第4回パートナーシップ会議は，10/30（金）19:00～

- 5 閉 会



大崎市持続可能なまちづくりに関するパートナーシップ会議メンバー

市民メンバー

地 域	氏 名
古 川	岩 瀬 拓 海
古 川	永 塚 崇 浩
松 山	佐々木 健 志
松 山	河 野 友 美
鹿島台	山 田 正 則
鹿島台	赤 間 義 範
三本木	伊 東 仁
三本木	佐 藤 俊 一
岩出山	高 橋 久 則
岩出山	佐 藤 こと代
鳴子温泉	大 沼 幸 男
鳴子温泉	渡 邊 亜沙人
田 尻	千 葉 瞳
田 尻	石 崎 太 貴

14名

協議事項
委員長及び副委員長の選出について
→ 第4回目以降に選出することとする

職員メンバー

所 属	氏 名
市民協働推進部まちづくり推進課	多 田 典 史
松山総合支所地域振興課	日 下 祐 輔
三本木総合支所地域振興課	佐々木 瑞 穂
鹿島台総合支所地域振興課	紺 野 文 浩
岩出山総合支所地域振興課	鈴 木 由 紀
鳴子総合支所地域振興課	北 村 恵 理
田尻総合支所地域振興課	尾 形 和 洋
地域交流センター	滝 田 誠
松山公民館	高 橋 優 友
三本木公民館	千 葉 浩 一
鹿島台公民館	菅 原 可菜実
岩出山公民館	大 関 ル ミ
鳴子公民館	菅 原 直 樹
沼部公民館	菊 地 孝 志

14名

出席者
市民メンバー12名
職員メンバー11名



①現状把握と理想の姿・地域づくりの現状を知る

発表の主旨

- ◇K：小泉，F：福浦，M：宮沢，O：荻埵（美里町）の4地区が結成した経緯
- ◇4地区の若者の一体感の醸成と地域の結束力を高める工夫
- ◇特色ある地域活動をつなぎ合わせ新たな事業を創出する際の仕掛け
- ◇地域自治組織・町内会との関わり方，新たな人材の発掘・登用のしかけ など



K.F.M.O. 檜の取り組み

Koizumi.F ukuura.Mlyazawa.Ogizone檜 永 塚 崇 浩 様

②地域運営組織（RMO）について（事務局から話題提供）

地域運営組織（RMO）…地域の暮らしを守るため，地域で暮らす人々が中心となって形成され，地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき，地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織

- ◇全国には8,193組織，地域運営組織が形成されている市区町村数は893団体（令和6年度総務省調査）
- ◇“人材・資金・情報”の3つの側面から地域運営組織の形成及び持続的な運営に向けた活動を後押し

地域運営組織（RMO）の形成・運営
※RMO：Region Management Organization
R6当初予算総額 0.3億円
(R7当初予算総額 0.3億円)

地域の暮らしを守るため，地域で暮らす人々が中心となって形成され，地域内の様々な関係主体が参加する協議組織が定めた地域経営の指針に基づき，地域課題の解決に向けた取組を持続的に実践する組織

- 全国には8,193組織，地域運営組織が形成されている市区町村数は893団体（令和6年度総務省調査）
- “人材・資金・情報”の3つの側面から地域運営組織の形成及び持続的な運営に向けた活動を後押し

RMOイメージ図
自治体 自治会 町内会 公民館 学校 子育て支援 高齢者支援 障害者支援 地域活動 地域課題の解決 地域経営の指針 地域運営組織 (RMO) 地域運営組織の形成・運営 地域運営組織の役割 地域運営組織の活動 地域運営組織の成果

RMO活動事例
【特非】きらりよじまネットワーク（山形県川崎町）
生活関連情報をウェブサイト上で集める「アトラン」の活用による地域課題の発見・解決。子育て支援、高齢者支援、障害者支援、地域活動、地域課題の解決、地域経営の指針、地域運営組織の形成・運営、地域運営組織の役割、地域運営組織の活動、地域運営組織の成果。

POINT
●各主体がバラバラに活動するのではなく、1つの組織として分野横断的に活動することで、地域課題の解決が図られる。
●従来の住民自治組織と比較して、若者や女性が増加しやすい組織。
●自治体と地域をつなぐ主体となり、様々な地域活動の基盤（インフラ）となる。
●地域運営組織の形成・運営等に要する経費について、地方財政措置を求めている自治体へ参考。

資料:地域運営組織について（総務省 地域力創造グループ 地域振興室）

③「指定地域共同活動団体」制度について（事務局から話題提供）

制度の概要

人口減少等により経営資源が制約される中で，住民が快適で安心な暮らしを営むことができるサービスの提供や地域課題の解決のため，今後，地域の実情に応じて，地域社会の多様な主体が参画し連携・協働する枠組み(プラットフォーム)を，市町村が構築し，その活動を下支えする取組が重要。

⇒ 令和6年の地方自治法一部改正(法第260条の49)により創設された「指定地域共同活動団体」制度の活用を通じて，地域における共助の仕組みを支え，多様な主体が連携・協働し，生活サービスを提供しやすい環境を整備

『指定地域共同活動団体』制度の概要
R6改正

人口減少等により経営資源が制約される中で、住民が快適で安心な暮らしを営むことができるサービスの提供や地域課題の解決のため、今後、地域の実情に応じて、地域社会の多様な主体が参画し連携・協働する枠組み(プラットフォーム)を、市町村が構築し、その活動を下支えする取組が重要。【第3次地方制度調査会審議(令和5年12月)】

令和6年の地方自治法一部改正(法第260条の49)により創設された「指定地域共同活動団体」制度の活用を通じて、地域における共助の仕組みを支え、多様な主体が参画し連携・協働する取組が重要。

【総務省重点施策2026(抄)】【R7補正】0.2億円
※ 新たな制度の円滑な導入・運用に向けて、先進的な取組事例等を参考に、導入ガイドブックの作成や周知・啓発等を実施。

1. 主体の指定
地域の共同活動を行う主体
【イメージ】
自治会・町内会等の地域の活動団体
地域の多様な主体と連携・協働しながら、地域的な共同活動を実施
○ 地域的な共同活動のイメージ
○ 地域の多様な主体と連携・協働しながら、地域的な共同活動を実施
○ 高齢者の健康づくり・生活支援
○ 子どもの健全育成・子育て支援
○ 高齢者・子どもとの見守り 等

2. 指定の意義
【行政財政の担付けのイメージ】
市保健センターの一室を活用し、交流関係等を構築
市保健センターに相談に訪れた高齢者等が、その場で交流関係に参画することが可能
市の健康活動等と合わせて、運動・食事の改善等について学び・実践できる取組を構築

【制度創設による委託のイメージ】
○ 公営の維持管理と、地域の美化活動を一体的に実施
→ 公園周辺の地域美化活動団体の活用により、地域資源を活用するなど地区の一体性がある地域美化活動が可能

②第3回 話し合い

テーマ

『事例紹介を観覧して感じたこと、気づいたこと、大切にしなければならないこと、守らなければならないこと』
～持続可能なまちづくりに向けて大切にしなければならない理念・考え方、必要な仕組み・ルールなどを考える～

A グループ



古 川	岩 瀬 拓 海
岩出山	高 橋 久 則
鳴子温泉	渡 邊 亜沙人
鹿島台総合支所 地域振興課	紺 野 文 浩
田尻総合支所地 域振興課	尾 形 和 洋
松山公民館	高 橋 優 友



②第3回 話し合い

テーマ
『事例紹介を観覧して感じたこと、気づいたこと、大切にしなければならないこと、守らなければならないこと』
～持続可能なまちづくりに向けて大切にしなければならない理念・考え方、必要な仕組み・ルールなどを考える～

B グループ



事例紹介を観覧して感じたこと、気づいたこと

グループ B

第3回大崎市持続可能なまちづくりパートナーシップ会議 (3) 話し合い

事例紹介を観覧して

テーマ①
感じたこと、気づいたこと、印象に残ったこと

テーマ②
大切にしなければならないこと、守らなければならないこと
・「大切な視点」、「工夫・しかけ」、「仕組み・ルール」

90年代も
まちづくり

次世代へ
つなぐ
まちづくり

西大崎
計画の
つながり

次世代へ
つなぐ
まちづくり

新しいまち
↓
新しいコミュニティ
を生む

つなぐまち
の場の提供

交流・話し
合いの場

良いものは
マネる!

不安(合併)
をそのまちに
行かせた
情報
イベント

住民意識
地域への関心
が高い
発展がある

行政・民間
の連携
強化

地域の力を
結集
大坂城

職人と表現
の融合

地域を自分
で守る
熱意

他地域と連携
広がり
負担↓
力↑

意見の食い違い
取り除く

悪いところ
と向き合う

大切にしなければならない理念・考え方

活動も
まちに
広める

若者が
新しいコミュニティ

イベントは
なく、作り上げて
行く過程も
大切

夜間管理と
地域への配慮

開放公共
スペースの
価値再発見

参加しやすい
仕組みづくり

組織・関係
性を強化

先輩が
後輩に
歩みよる

近隣住民
との調整

4地区
イベント
の開催
90年代
的成長
担い手(人材)

食生活
の改善
の場

大崎郡土
のイベント

成功・失敗
の事例を
共有

次世代を
つなぐ

無理な
開発計画と
持続性

住民一人ひと
りの主体性

若者の交流
SNSによる
コミュニティ

時代は
SNS

交流の糸口
としての
SNS

ふんわりした
地域計画

計画は
大抵だ

柔軟な計画
は組
実態に
応じて

交付金
ルールの
緩和

負担感↓
楽々共有

地域との
組織
つなぐ
連携

左の理念・考え方を推進、普及及び定着
させるために必要な仕組み・ルール

古 川	永 塚 崇 浩
鹿島台	赤 間 義 範
岩出山	佐 藤 こと代
まちづくり推進課	多 田 典 史
鳴子公民館	菅 原 直 樹

持続可能なまちづくりに向けて
大切にしなければならない理念・考え方

②第3回 話し合い

テーマ
『事例紹介を観覧して感じたこと、気づいたこと、大切にしなければならないこと、守らなければならないこと』
～持続可能なまちづくりに向けて大切にしなければならない理念・考え方、必要な仕組み・ルールなどを考える～

Cグループ



事例紹介を観覧して感じたこと、気づいたこと

グループ Cグループ

地域の人々が
地域で活動したい人
を支援する
「まち協」という
システム

子どもたちと
一緒に
未来を
若い世代の
参加

地域外との
交流

団体同士
で補完
しあう

住民の
意見の
吸い上げ

10年後を見据えた人材育成、若い世代の参加

情報発信の仕組み

参加しやすい話し合いの場づくり

住民の意見の吸い上げ(合意形成)

今の形にとらわれない

時代に合わせた組織づくり 市全体としての組織のルール作り

一本化した情報媒体での周知 SNS (プラットフォーム)

ワークショップの開催 (多世代、多地域) まち協の定年祭り (ex. 65+

他地域のイベントを知って、参加していく (潜在的な、地域で活躍したい人の発見)

行政職の仕事も減らす

補助制度の見直し (地域課題解決のための補助金)

代わる選択 (統合、大事なものを取捨選択) リスクの有無

左の理念・考え方を推進、普及及び定着させるために必要な仕組み・ルール

松山	佐々木 健 志
鳴子温泉	大 沼 幸 男
田 尻	千 葉 瞳
松山総合支所地域振興課	日 下 祐 輔
三本木公民館	千 葉 浩 一
岩出山公民館	大 関 ル ミ

持続可能なまちづくりに向けて
大切にしなければならない理念・考え方

②第3回 話し合い

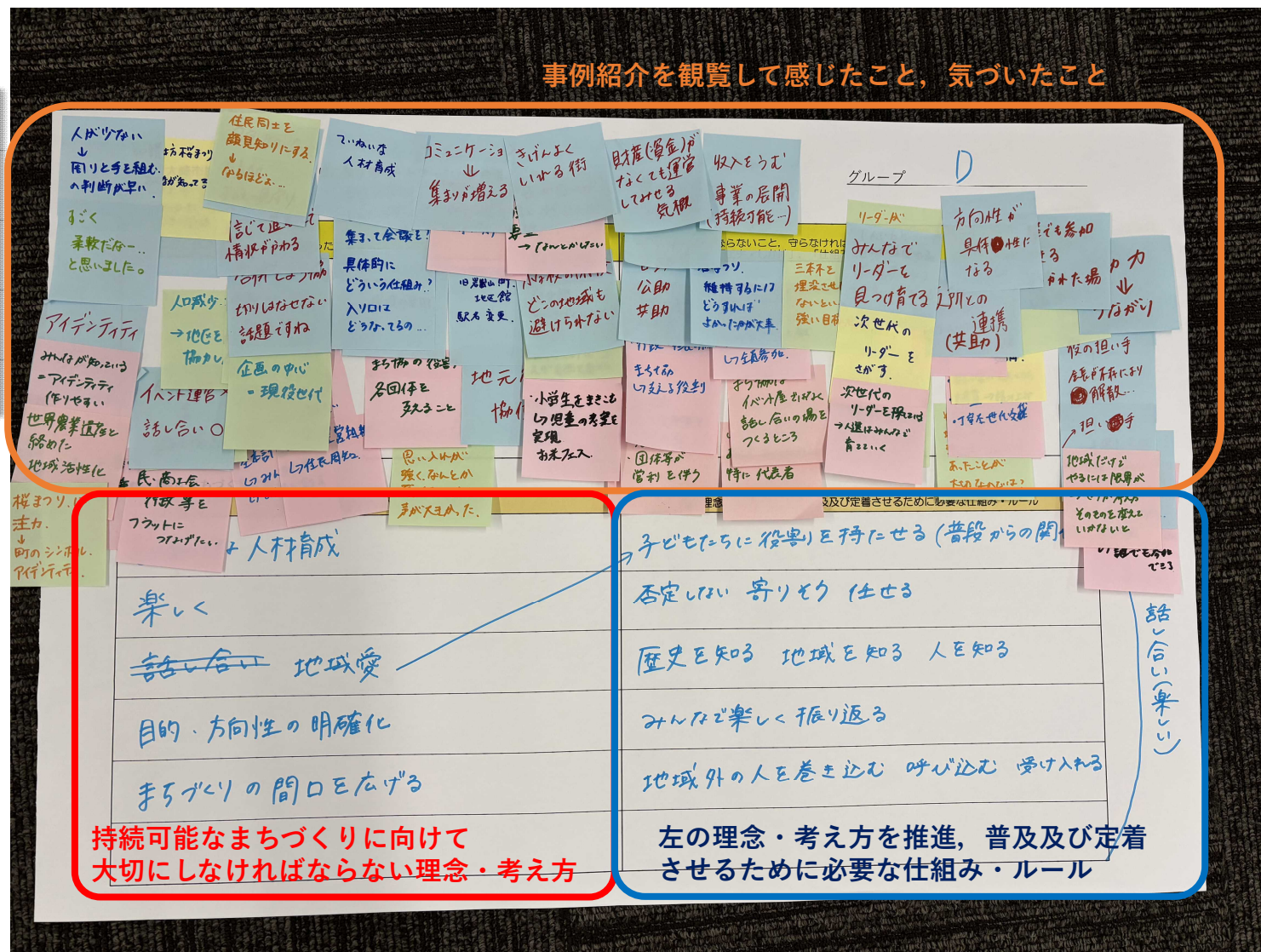
テーマ

『事例紹介を観覧して感じたこと、気づいたこと、大切にしなければならないこと、守らなければならないこと』
～持続可能なまちづくりに向けて大切にしなければならない理念・考え方、必要な仕組み・ルールなどを考える～

D グループ^o



松 山	河 野 友 美
三本木	伊 東 仁
田 尻	石 崎 太 貴
三本木総合支所地域振興課	佐々木 瑞 穂
岩出山総合支所地域振興課	鈴 木 由 紀
鹿島台公民館	菅 原 可菜実



②第3回 話し合い

テーマ
『事例紹介を観覧して感じたこと、気づいたこと、大切にしなければならないこと、守らなければならないこと』
～持続可能なまちづくりに向けて大切にしなければならない理念・考え方、必要な仕組み・ルールなどを考える～

E グループ



鹿島台	山田 正 則
三本木	佐藤 俊 一
地域交流センター	滝田 誠
鳴子総合支所地域振興課	北村 恵 理
沼部公民館	菊地 孝 志

第3回大崎市持続可能なまちづくりに関するパートナーシップ会議 (3) 話し合い

グループ

事例紹介を観覧して感じたこと、気づいたこと

テーマ①
感じたこと、気づいたこと、印象に残ったこと

テーマ②
大切にしなければならないこと、守らなければならないこと
・「大切な視点」、「工夫・しかけ」、「仕組み・ルール」

4次都市が
策定している
こと

7.11.11
話し合い

まち協は
他外屋では
ないこと
地域連携へ切替

広報誌を
毎月発行
情報発信

親子交流
地域の員

20年経ち
様々な
意識の薄れ

人材育成は
国連メンバーに
なっている

事務局体制
の在り方
職員の業務に
関係がある

人とのつながり
を大切に

不登校児童の
支援活動
の重要性
の認識
が深まった
こと

自己財源
確保の工夫

子どもから
高齢者まで
全世代を対象
とした活動

地域内
の
ネットワーク
づくり

持続可能なまちづくりに向けて

大切にしなければならない理念・考え方

左の理念・考え方を推進、普及及び定着させるために必要な仕組み・ルール

小学校との
コラボ企画
青少年時代の
体験会
↓
将来の担い手

卒業生の
「ふるさと愛」が
強い
ネットワークが
あること
ふるさと
愛

若手は進学
や就職で
外に出る
ふるさと愛は
もっている
ので

卒業生・出身者の
協力
役員のなり手
不足が課題
人材育成
には、
外の力も
必要
まずは、
1人・2人と
地道に

持続可能なまちづくりに向けて
大切にしなければならない理念・考え方

左の理念・考え方を推進、普及及び定着
させるために必要な仕組み・ルール